

令和6年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立児童センター	所管課	こども・元気健康部子育て支援課
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	施設分類	子育て支援施設
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	利用料金制導入	なし（指定管理料のみ）
導入年月日	平成25年6月1日	指定回数	3回
施設設置目的	児童に健全な遊びの場を提供し、もって児童の健康を増進し、豊かな情操をはぐくむ。また、相互援助活動を実施する中で、地域の子育て支援の向上を図り、地域活動支援、地域子育て世代の交流の場を提供することを目的とする。		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ふじみ野市立東児童センター ふじみ野市福岡1丁目2番5号フクトピア3階 延床面積934.59㎡ 鉄筋鉄骨コンクリート造 ふじみ野市立西児童センター ふじみ野市大井中央1丁目1番1号大井総合支所3階 延床面積987.55㎡ 鉄筋鉄骨コンクリート造 		
管理運営の基本方針	児童福祉法等の関係法令を遵守し、十分に理解したうえで、利用者のニーズに対応した事業の充実、利用促進に努め、施設の効用を最大限に発揮し、利用者へのサービス向上を図る。また、地域の関係機関や団体と連携協力し、地域の実情を踏まえた施設運営に努め、遊びを与えるだけでなく、こどもとともに遊び、遊びを通じてこどもの生きる力を養う。		
指定管理者の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> 健全な遊びの場を提供し、児童の集団及び個別指導を行い、遊具その他設備の利用により児童の体力増進を図る。 児童に関係のある組織、機関等との連絡に関する業務。 自主事業の実施。乳幼児及び児童の健全育成に必要な活動の実施。ファミリー・サポート・センター事業に関する業務。 		

評価項目

- 【評価基準】
- 5：指定管理者のノウハウや努力等により、要求水準を大きく上回っている場合
 - 4：要求水準を上回っている場合
 - 3：要求水準を満たしている場合
 - 2：要求水準を下回っている場合
 - 1：要求水準を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援拠点として、親子の居場所づくりや相談しやすい環境づくりを日々意識し運営を行った。 こども達の遊び、運動、交流、活動ができる環境を整え、自主性や創造力を発揮し自己肯定感を構築していけるよう支援した。 令和6年度実施計画に添った児童センター及びファミリー・サポート・センター事業を滞りなく実施した。 	4
区分	具体的な取組の状況・実績	
子育て支援拠点	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援従事者として多様な子育て相談に対応できるよう必要な研修を受講しスキル向上に努めた。 日曜日に子育て支援事業を開催することで、参加出来る対象の幅が広がり園児や父親の参加に繋がった。 親子で体を動かす事の楽しさを知ってもらえるよう、年齢に合った親子体操を提供した。 東児童センター りんりんリズム（毎週月曜日） 1,172人 西児童センター レッツダンス（毎週水曜日） 1,042人 子育て支援拠点として週3日、1日3時間以上の開設をした。拠点日以外も乳幼児事業を実施し、親子が楽しめる環境を作った。 拠点人数 東児童センター（火・木・金）154回 6,389人 育児講座 12回 220人 相談件数 33件 西児童センター（水・金・日）154回 7,529人 育児講座 12回 275人 相談件数 41件 	
小学生・中学生・高校生の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> 毎週土曜日に実施している小学生事業「子どもオリンピック」（東児童センター）、「小学生タイム」（西児童センター）は、こども達の基礎体力向上や他校異学年交流による遊びができることで、こども達の協調性や社会性を育むことができる良い事業となった。 東児童センター「子どもオリンピック」 611人 西児童センター「小学生タイム」 511人 中高生の利用は東西児童センター合計10,602人となった。スポーツタイム事業を中心に中高生の居場所となった。 <中高生スポーツタイム参加者数>（年間233回） 東児童センター 2,078人 西児童センター 1,975人 <中高生夜間開館>（10回） 東児童センター 142人 西児童センター 102人 	
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 東西児童センター、ファミリー・サポート・センターは、複合施設の一つとして、他施設と協力した運営を行うことができた。 地域で活動している教室等の周知について、ポスター等の掲示協力を行った。また、地域活動のできる場を提供した。 更生保護女性会協力事業、母子愛育会、小学校の施設見学や中学生の職場体験、大学生の施設実習、社会福祉協議会主催の初めてボランティアの受入れなど地域との連携に努めた。 上福岡七夕祭り「竹飾り」に参加することで、地域の活性化に貢献した。こども達や保護者が制作した物が飾られ、祭りに参加する機会を提供することができた。 	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	自己資本比率・現預金残高は良好。前期に引き続き、売上高、利益ともに順調に推移。	3
その他特記事項		

3 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定（計画・目標） 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
	乳幼児（ファミサポ利用者149人を含む）	28,660 人	28,708 人	108.8%	100.2%	
小学生	37,445 人	40,984 人	104.6%	109.5%		
中学生・高校生	9,772 人	10,602 人	121.1%	108.5%		
大人（ファミサポ利用者531人を含む）	30,270 人	31,892 人	115.2%	105.4%		
計	106,147 人	112,186 人	110.1%	105.7%		
（特記事項） 東児 幼児：13,762人（109人） 小学生：22,898人 中学生：5,416人 大人：15,689人（455人） 合計：57,765人 西児 幼児：14,946人（40人） 小学生：18,086人 中学生：5,186人 大人：16,203人（76人） 合計：54,421人 ※カッコ内はファミリー・サポート・センターの利用者数 ファミリー・サポート・センター 依頼会員：1,127人 提供会員：181人、両方会員：70人 年間活動数：5,092回（令和5年度3,892回）						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ野市立児童センター条例第4条各号に規定する業務 （ア）児童の健全な遊びと居場所の提供 （イ）施設遊具等の利用による児童の体力増進に関する事業 （ウ）中高生の居場所づくり 自主学習等ができる環境の整備や、夏季7月、8月に10日間以上（夜間等）居場所としての開放、 中高生の要望に応じた事業の企画立案できる指導 （エ）児童の健全な育成を目的とした講座、イベント、行事等の開催及び異世代交流等をする為の事業 （オ）児童の自主活動の支援 （カ）児童の遊びと居場所づくりに関する情報収集および情報提供 ・地域子育て支援拠点事業に関する業務 ・ファミリー・サポート・センター事業 ・施設の利用に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関すること ・児童センター指定管理業務仕様書に記載する業務 ・埼玉県児童館連絡協議会に関する業務 	追加事業	なし		
自主事業	東児童センター 【乳幼児事業】 ママの輪・パパの輪・大きくなったかな・リズムタワー・りんりんリズム・親子タイム0歳、1歳、2歳コース・ぼんぼんお話し会・4月入学児対象の小学生体験 【小学生事業】 子どもオリンピック・学びの種・遊びクラブ・子ども運営委員会・まつり実行委員会・小学生お仕事体験・年間キッズサポーター・遊びシリーズ・輪車・子ども会議・子ども掲示板 【中学生事業】 中学生スポーツタイム・中学生ボランティア活動 【全来館者事業】 チャレンジタイム・フクトピアっ子まつり・ハロウィンを楽しもう・季節のイベント・バルーンアートに挑戦・今月シリーズ折り紙、ぬり絵、制作・遊びシリーズこま・なわとび 【地域連携事業】 更生保護女性会の伝承遊び・地域ボランティアの英語絵本の読み聞かせ・上福岡七夕まつりの竹飾り参加・こども食堂協力事業 【その他】 ペットボトルキャップの回収・社会福祉協議会「初めてボランティア体験」受け入れ・大学生実習 ファミリー・サポート・センター サポートタイム事業	未実施事業	なし			
利用サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターで発行している利用カードはすべてラミネート加工を行った。 ・絵本購入時は良い状態を保つようブックカバーをして貸出した。 ・館内の装飾は季節に合わせて交換したり、毎月の事業周知など来館に繋がるよう工夫した掲示を心掛けた。 ・ファミリー・サポート・センターアドバイザーは活動が円滑に進むよう、依頼した活動が重複していないか、また活動と活動の間に時間的余裕があるかなど安全に考慮し依頼した。 					

4 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の 要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート 6月・12月 児童400人 保護者400人 (計800人)</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 【保護者対象アンケート】①住所 ②こどもの年齢 ③来館方法 ④利用頻度 ⑤情報の取得方法 ⑥利用した感想 ⑦来館した印象 ⑧職員の対応 ⑨⑩⑪ファミサポの認知度・預かり活動の認知度・提供会員活動への興味 ⑫参加行事の満足度と感想や要望 ⑬現在の利用方法について 【児童対象アンケート】①住所 ②学年 ③利用頻度 ④利用時の満足度 ⑤職員の対応 ⑥小学生向け事業の認知度 ⑦情報の取得方法 ⑧参加行事の満足度と感想や要望 ⑨置いてほしい玩具や参加希望の行事等</p> <p>(3) 調査、会議等の結果 【保護者対象アンケート】 東児童センター ①市内在住 79.8% ③来館方法 車 67% ④利用頻度 週1~2回 43% ⑥利用した感想 満足・やや満足 97.5% ⑧職員の対応 満足・やや満足 98% ⑨ファミリー・サポート・センターの認知度 知っている 73% 西児童センター ①市内在住 83% ③来館方法 車 64.5% ④利用頻度 月1~2回 57% ⑥利用した感想 満足・やや満足 99% ⑧職員の対応 満足・やや満足 97.5% ⑨ファミリー・サポート・センターの認知度 知っている 66% 【児童対象アンケート】 東児童センター ①市内在住 94.5% ②利用児童 小学生 90% 中学生 9% 高校生 1% ④利用した感想 とても楽しかった・楽しかった 94.5% ⑤先生の対応 良い 82.5% 西児童センター ①市内在住 95% ②利用児童 小学生 70.5% 中学生 29% 高校生 0.5% ④利用した感想 とても楽しかった・楽しかった 91% ⑤先生の対応 良い 78.5%</p>	
利用者からの 評価・要望・ 苦情等	<p>(1) 良好とする評価 東児童センター ①おもちゃの種類がたくさんあり、こどもの成長に繋がる良い刺激になっている。 ②祭り実行委員は自分達でいろんなことを決める事ができて楽しかった。 西児童センター ①こどもの名前を覚えて声をかけてくれるので嬉しい。 ②工作事業で先生と沢山話したり、作品が可愛くできて良かった。</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 東児童センター ・スマートフォンの利用制限についてももう少し緩和してほしい。 西児童センター ・休日に幼児でも体を思いっきり使うダンスイベントなどがあると楽しそう。 ファミリー・サポート・センター ・提供会員より。ガソリンが値上がりしている。車を使った活動が多く、車代1回150円はマイナスになることが多くあった。何とかならないか。 《対応措置》 東児童センター ・スマートフォンは使えない方がいいという保護者やこどもの声もある。児童センター貸出しのおもちゃやゲームで楽しんでいると伝えているとともに、必要な連絡はできることを伝える。 西児童センター ・月1回日曜日に乳幼児事業「レッツダンス」の実施を開始した。 ファミリー・サポート・センター 物価高騰の影響を鑑み、相互利用を行っている二市一町で検討を実施する。</p>	4

5 事業収支

(単位：円)

	指定管理者収支 (令和6年度)				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		令和6年度決算		令和5年度決算(前年度)			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
①指定管理 業務事業収支	収入	利用料金	0	利用料金	0	歳入	施設使用料	0	施設使用料	0
		事業収入	68,000	事業収入	33,900		行政財産使用料	0	行政財産使用料	0
		指定管理料	62,613,000	指定管理料	62,904,238		国庫支出金	2,565,000	国庫支出金	2,153,000
		雑入	0	雑入	0		県支出金	2,565,000	県支出金	2,153,000
		自主事業からの充当	7,000	自主事業からの充当	0		その他	0	その他	0
		計	62,688,000	計	62,938,138		計	5,130,000	計	4,306,000
	支出	人件費	47,407,000	人件費	46,258,416	歳出	修繕料	0	修繕料	0
		消耗品費	1,510,000	消耗品費	1,785,517		保険料	0	保険料	0
		光熱費	3,863,784	光熱費	4,155,022		指定管理料	62,904,238	指定管理料	62,773,535
		水道料金	332,216	水道料金	290,092		業務委託料	0	業務委託料	0
		委託料	240,000	委託料	889,304		土地・建物賃借料	0	土地・建物賃借料	0
		賃借料	40,000	賃借料	1,134,366		その他	43,943	その他	49,747
通信費		540,000	通信費	461,585						
保険料		1,100,000	保険料	835,756						
修繕費		1,000,000	修繕費	104,105						
事業費(市指定事業)		0	事業費(市指定事業)	0						
公租公課		0	公租公課	0						
一般管理費(本社経費等)		6,655,000	一般管理費(本社経費等)	2,007,000						
計	62,688,000	計	57,921,163	計	62,948,181	計	62,823,282			
収支	0		5,016,975		差引	△ 57,818,181		△ 58,517,282		
②市への納付金 ※納付金がある施設のみ	市への納付金	支出	0	支出	0					
③最終収支(①-②)	収支	0		5,016,975						
●自主事業収支	自主事業収支	収入	100,000	収入	33,900					
		支出	90,000	支出	33,900					
		自主事業収支	10,000	自主事業収支	0					
分析	人件費比率【人件費/指定管理者事業支出】							79.9%		
	事業収支における経営分析			物価高騰、ホームページ管理会社の変更、フクトピアLED賃借料の計上等による支出の増加があったが、一般管理費等の削減により黒字となった。						
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由			エリアマネージャーについて、以前は放課後児童クラブと児童センターの2名で担当をしていたが、指定管理期間に1名での管理に変更となった事で経費等を削減した事が要因。						

6 管理運営全般

※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか	適	3
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか		
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	
	配置実績 平日5名以上、土日6名以上、学校休業期間中の平日7人以上 (統括責任者たる所長及び副所長含む)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	適	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	適	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	適	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
その他	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	適	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
特記事項	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか	適	

7 危機管理体制

※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項			

総合評価

【総合評価】 A:とても優れている/B:優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		子育て支援施設
総合評価	施設の設置目的の達成	4	B		
	指定管理者の健全性	3			
	施設の有効活用	4			
	利用者評価	4			
	事業収支	3			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	3			

評価理由

- ・乳幼児から保護者まで、また地域の方々も交えた幅広い層をカバーする様々な事業展開により施設設置目的を達成したことに加え、「親育ち・子育て」にも貢献することができたため。
- ・「中高生スポーツタイム」の実施日を、月曜日のみであった令和4年度から月曜日から金曜日に拡大するなど、中高生対象事業をより充実させるとともに、一人ひとりを大事にした声かけ等による関係構築を継続したことによる居場所づくりに注力した結果、中高生の利用者が増加したため。
- ・利用者（児童・保護者）アンケートにおいて、利用した感想における「満足」と「やや満足」の合計が、東児童センターでは96%、西児童センターでは95%と非常に高水準であることから、利用者からの支持を得られていることが分かるため。

取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	<ul style="list-style-type: none"> ①園児も参加できる事業を取り入れる。 ②仕事の効率化をし、こども達と触れ合う時間を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①平日実施している乳幼児事業を休日に移行し、園児も参加できるようにした。 ②事業内容の検討や作業の効率化に取り組んだが、来館者が増えたことや事務作業の多さなど十分な時間をとることができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に対して相談ポスターを館内に掲示し、悩みを気軽に相談できる環境を整備する。 ・事業内容の検討や作業の効率化に取り組み、職員の負担軽減に努める。

指定管理者自己評価	
(1) 評価期間の取組に対する評価	
①サービス向上に向けての取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者へ丁寧な対応を心掛け、継続利用に繋がるよう努めた。 ・図書は、月刊誌、絵本、マンガなど定期的な購入をすることでこども達が飽きることなく利用することができるよう努めた。また図書室だけでなく工作室にも図書を設置するなどこども達の声に応えた。 ・ヒヤリハットや事故対応について、エリアマネージャー、東西児童センターで共有することで、同じことを繰り返さないよう努めた。 	
②業務の効率化に対する取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・提出書類や発行する児童センター便り、小学生新聞などは東西でチェック体制をとった。不備や誤字脱字の削減ができ、よりよい形で提供することができた。 ・職員配置が難しい時は、もう一方の児童センターや放課後児童クラブから応援をもらい対応した。お互いが行き来し、事業見学や業務に携わることで、利用者状況や仕事の流れなどを学ぶことができ、良い部分を取り入れたり、足並みを揃える事ができた。 ・事業終了後は反省会を実施し、振り返りの記録を残すことで次の事業に生かすことができた。 	
③その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・夕焼け放送（4月～9月は17時・10月～3月は16時半）に合わせて児童へ声かけをし、安全に帰宅できるよう促した。3月は16時半と17時の声かけをした。 ・埼玉県児童連絡協議会の役員として、役員会及び館長研修に出席し、与えられた職務を遂行した。 ・東児童センター屋外プレイヤードは毎朝温度のチェックや開放時に気象注意報等がないか確認して、安全な開放を心掛けた。 	
(2) 管理業務実施上の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・東児童センター遊戯室の放送が音割れしている。特に大勢の利用がある時は聞こえづらくなっている。 ・西児童センター遊戯室の床板に反りがあった。経年劣化による傷が増えてきている為、大井総合支所担当課及び点検業者と連携して早期に発見・解決していく。 ・来館の多くなる時期や曜日は職員人員体制が不足と感じることが多い。特に、東児童センターは屋外プレイヤードの見守りが必要であり、人員の不足が課題である。 	
(3) 次年度以降の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・児童に対して相談ポスターを館内に掲示し、学校生活など悩みを気軽に相談できる環境を整備する。 ・事業内容の検討や作業の効率化に取り組み、職員の負担軽減に努める。 ・埼玉県児童連絡協議会の監事、西部地区の副会長と監事、2年間の担当を滞りなく対応する。 	